

2022-2023 年度 国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ
国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ(カナダ)

例会日 : 毎月第2・第4水曜日
場 所 : 各務原市産業文化センター2階
住 所 : 各務原市那加桜町2-186
TEL <058>382-4649 FAX <058>382-4719
会 長 : 左高 洋 幹 事 : 金武 峰之
副会長 : 小島 博彦 会 報 : 松原 竜二

本日のプログラム 2022年 10月12日(水) 19:30~

- 1) 外部卓話
場所 : 産業文化センター2階 第4会議室

次回例会の予告 2022年 10月19日(水) 9:00~

- 2) パークレンジャー活動
場所 : 各務原市民公園 南東部花壇

出席委員会 会員総数 30名(出席免除3名)
(2022.7.1 現在)

前 回 9月28日 補正後出席率 66.67%
前々回 9月21日 補正後出席率 81.48%



イマジン ロータリー

第2764例会
令和4年9月28日(水)
No.0701



～ 高橋 伸治 ガバナー公式訪問 於 : ぶるうすかい ～

司会進行

金武 峰之 幹事

本日は宜しくお願ひ致します。

お客様ご紹介及び会長挨拶

左高 洋 会長

例会前の懇談会の報告になりますが、国際RC、地区の重要事項であります会員増強、女性会員増員、会員向けの研修会、各務原RCの特色について報告しました。会員増強につきましては、一人でも多くの方と交流し、ロータリークラブの奉仕の精神、各務原RCの年間事業等をPRしております。会員研修会につきましては、各務原RC今期の方向を共有するために、重要事項にあります会員増強セミナーを、地区の講師をお招きし開催しました。今期はその他にもロータリー財団等セミナーを開催しますが、高橋ガバナーより職業奉仕のセミナーの要望がありましたので取り入れていきたいと思います。各務原RCの特色につきましては、会員の平均年齢が東海北陸道グループの中で若い事です。今後の活動内容は、その時々にあった事業にしていく方針です。前期クラブアッセンブリでもお伝えしましたが、RIのスローガン「イマジン」想像の意

皆さん、こんばんは。本日は、ガバナー公式訪問例会に際し、お忙しい時間帯に関らずご出席頂きましてありがとうございます。まず初めに、お客様のご紹介を致します。

- ・国際ロータリー第2630地区ガバナー
高橋 伸治 様
- ・東海北陸道グループガバナー補佐
亀井 高利 様
- ・国際ロータリー第2630地区 地区代表幹事
山岡 利安 様
- ・国際ロータリー第2630地区 地区幹事
上松 泰歳 様
- ・各務原市長 浅野 健司 様

味もありますが、考えるという意味もあります。この先各務原RCの事を共に考え、今期のロータリー活動に尽力頂きます様お願い致します。

ニコBOX報告 R財団委員会 竹田 克茂 委員長

・左高 洋 会長 高橋ガバナー、今日是有難う御座います。宜しくお願い致します。

・金武 峰之 幹事 皆様、こんばんは。高橋ガバナー、各務原RCへお越し頂き誠に有難う御座います。本日は宜しくお願い致します。

・小島 博彦 副会長 高橋ガバナー、本日は有難う御座います。宜しくお願い致します。

・後藤 健介 直前会長 高橋ガバナー、本日は、宜しくお願い致します。

・松井 雅史 会長エレクト コロナウイルス感染者は減ってきている印象ですが、まだまだ油断禁物です。皆さん体調には気を付けましょう。

・藤井 孝一 君 高橋 伸治ガバナー、山岡 利安地区代表幹事、亀井 高利ガバナー補佐、上松地区幹事、ようこそ。宜しくお願いください。

・横山 隆一郎 君 高橋ガバナー様。お世話になります。宜しくお願いします。

・平井 正晴 君 高橋ガバナー様、亀井ガバナー補佐様、本日はご苦労様です。宜しくお願いします。

・大野 広 君 高橋ガバナー、ようこそ各務原RCへ。宜しくお願いします。

・横山 浩之 君 高橋ガバナー、本日宜しくお願いします。

・小林 幹男 君 高橋ガバナー、山岡地区代表幹事、亀井ガバナー補佐、上松地区幹事、ようこそ各務原RCにお越し下さいました。本日の卓話宜しくお願い致します。

・可兒 昌則 君 高橋ガバナー、ようこそお出で下さいました。宜しくお願い致します。

・片岡 紀生 君 高橋ガバナー、ようこそお越し下さいました。ご指導宜しくお願い致します。

・竹田 克茂 君 高橋ガバナー、本日宜しくお願いします。

・清水 裕治 君 高橋ガバナー、本日宜しくお願いします。

卓話

高橋 伸治 ガバナー

皆さん、こんばんは。今年度ガバナーを務めさせていただきます高橋です。所属クラブは岐阜ロータリークラブです。どうぞよろしくお願い致します。



本日の卓話は、ま

ず初めにRI会長の紹介、とRI会長テーマ、RIの戦略計画、そして現在RIはどのような方向に向かっているのかについて、最後にガバナーの方針であります地区スローガンと地区活動方針についてお話をさせていただきます。ガバナーはRIの役員という立場でありますので、まず公式訪問ではこれらの事を話す役目があります。少し硬い話になってしまいますが、大切な事ですのでお付き合いの程よろしくお願いします。



まず初めに今年度RI会長を紹介させていただきます。

名前は、ジェニファー・ジョーンズ

所属クラブ カナダ

ウインザー・ローズランドRC

職業はラジオやテレビ番組の制作、企業の動画の制作などを専門にする Media Street Production Inc. の創業者で現在社長。ウインザー大学の理事長。ウインザー・エセックス地域商工会議所会頭を歴任。

ロータリー歴：1997年 入会

RI 副会長、理事、研修リーダー、委員会委員長、モデレーター、地区ガバナーを歴任。

超私の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状を受賞。
アーチ・クラフ・ソサエティ、ポール・ハリス・ソサエティ、ロータリー財団遺贈友の会の会員。

1905年にロータリーが誕生して以来 117年目にして初めて女性 RI 会長の誕生という事で今年度は、ロータリーの歴史に残る年度となります。写真がパートナーのご主人です。彼もロータリアンで、職業は内科医 2024-25年のガバナーに決まっています。

RI 会長のスピーチを3分にまとめた動画より、

「私たちがベストを尽くせる世界」を想像して下さい。やさしさ、愛、希望、平和を想像して下さい。イメージとは、未来を描くことです。その未来の夢を実現するために行動するかどうかを決めるのは私達です。その実現のためにロータリーのつながりと力を生かしましょう。」

と私たちに呼びかけられました。今、ウクライナで毎日起きている悲惨な状況が続いています。

私達ロータリアンは想像力を働かせ、ウクライナ支援の為に何が出来るのかを考え、行動に移す時なのかもしれません。

詳しいスピーチの内容については、7月号の月信をお読みください。

今ご覧いただいた会長スピーチに出てきましたが、今年度のRI 会長テーマは「イマジンロータリー」であります。そして「ロゴ」になります。ロゴの説明をします。色についてですが、パープルはポリオ根絶、グリーンは環境、白は平和をイメージしています。

パープルの輪は人々のつながり、輪の周りの点は、集まっている人々、それと7つの重点分野、輪と点との組み合わせは、私たちの行く先を先導する星をイメージしています。下のグリーンの線は、ロータリアンが奉仕活動に立ち向かう時に使う道具をイメージしています。

次に RI の戦略計画について話をさせていただきます。4つの項目のうち1つ目は、ビジョン声明です。RI は、2016年、2019年の規定審議会においてクラブ運営・組織運営に大幅な革新性・柔軟性を取り入れ、入会のハードルを下げることによって、会員の減少を食い止めると同時に、増強を図ってきましたが減少が止まりませんでした。そこで、RI は、ロータリーを拡大していくためには共通した方向性とロータリーが目指す姿を、世界中のロータリアンに示す必要があると判断し、2019年にビジョン声明を発表しました。

『私たちは世界で、地域社会でそして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。』

2つ目は、このビジョン声明を達成するために今後5年間の戦略的優先事項として4つの行動計画が発表されました。

- ・より大きなインパクトをもたらす
- ・参加者の基盤を広げる
- ・参加者の積極的な関りを促す
- ・適応力を高める

そしてここで重要なことは、「より大きなインパクトをもたらす」には参加者の基盤を広げ、参加者の積極的な関わりを促す必要があり、参加者の基盤を広げ、参加者の積極的な関わりを促すためには、地区やクラブも「適応力を高め」、地域社会のニーズに合った適切な運営が必要になってきます。つまりこれらの4つの行動計画は「一つにもの」として考えなければならないという事です。このことは大事なことです。しっかりと理解しておいて下さい。

3つ目は、ロータリアンの基本となる行動指針を記した「奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ」といった中核的価値観です。

世界中のロータリアンが共有する最も重要な価値観です。今後、戦略計画の内容が変わったとしても、中核的価値観は不変です。

4つ目は、今年度の重点テーマとなっております2019年に理事会が採択したDEIつまり「多様性・公平さ・インクルージョン」の推進であります。

つまりRIの方針として、ロータリーは、すべての人に、尊厳と尊重をもって接し、あらゆる人の声に耳を傾け、親睦、奉仕、リーダーシップの公平な機会をもうける事に力を注いでいくという事を表明しています。

・ダイバーシティ（多様性）とは：あらゆる背景を持つ人や幅広い文化、経験、アイデンティティの人を歓迎するという事です。

・エキويتي（公平さ）とは：クラブ会員の公平な扱いと、機会の均等を保つように努めるという事です。

・インクルージョンとは：簡単に言うと帰属意識の事です。あらゆる人が歓迎されていると感じ、尊重され、会員として大切にされるインクルーシブなクラブ環境づくりに力を注いでいくという事です。

ここで、「平等」と「公平」の違いが分かりにくいと言う方が見えると思いますので説明します。平等 (Equality) とは、個人の違いは視野に入れず全員に平等なものが提供される事で、公平 (Equity) とは、個人の違いを考慮し、それぞれに公平な機会が提供される事。そして、ダイバーシティとインクルージョンとは誰もが活躍できる組織ということです。

それでは、なぜR I がDE I の導入が必要であると言っているのかと申しますと、

① 戦略的優先事項である「4つの行動計画」を推進するためには「DE I」の導入は必要である

② 現在、会員数が伸び悩んでいる中、ロータリーの会員基盤を成長させ、インパクトを高めるためには、我々会員がロータリーをより多様性・公平さ・インクルージョンのある組織にしていく事が必要であると考えるからであります。

現実には、毎年約15万人ほどの新入会員が入ってきても、同じくらいの数の会員が裏口から出て行ってしまいます。そして、その退会者の50%が入会3年未満の会員であるというのが現状です。

ロータリーの良さを理解しないまま退会してしまう事は、ロータリーにとっては大変大きなマイナスであります。このような状況を改善するためには、すべての会員がロータリーと強いつながりが実感でき、クラブに対して心地よさを感じる事、そして、会員への配慮が必要であります。つまり、クラブの成長には、インクルーシブなクラブ環境が必要であるとR I 会長は言っています。

クラブ一丸となって、この様な「インクルーシブなクラブ環境づくり」に力を注いでいただき、会員増強・退会防止につなげていただきたいと思います。ロータリーの最大の財産は、「会員」であります。どうぞよろしくお願ひします。

以上、4項目がR I の戦略計画の内容となっております。それでは、次にガバナー方針であります地区スローガンについて発表させていただきます。その前に、近年のロータリーの現状を理解してもらうため、R I を含む世界のロータリーの現状と、今、R I が目指そうとしている方向性とはどういうものなのかについて報告させていただきます。R I は、ロータリー財団と一体となり、「奉仕の実践」に重点を置き「世界で良いことをしよう」そして、「ロータリアンは世界を変える行動人」を旗印に世界有数のボランティア団体を目指

そうとしています。これが今のR I の現状です。今回の「ビジョン声明」・最近のR I 会長のスピーチにもこのR I の方向性がよく表れています。

先進国の会員が減少して、発展途上国の会員が増加していく現状を考えると、人道的支援活動を中心としたロータリー活動が、これから益々R I の活動の中心となる傾向にあると思います。

ロータリー運動を最もよく表す「ロータリーのキャッチフレーズ」が変わりました。

1947～2013年までは

「ENTER TO LEARN GO FORTH TO SERVE」

「入りて学び、出でて奉仕せよ」でありましたが突如2014年から

この様に「JOIN LEADERS、 EXCHANGE IDEAS TAKE ACTION」に変わりました

リーダーのネットワークを広げ、アイデアを交換し、行動しようであります。つまり、「学ぶことより、まずは行動しよう」がロータリー運動の前面に出てきたという現れです。この様に、今のロータリー運動は「奉仕の理念を学ぶ」より「奉仕の実践」に力点を置いた内容に変わってきている。という事です。

助けが必要な人がいれば、手を差し伸べることはロータリーにとって当然の事であります。こうした人道支援活動の成果があつてこそロータリーの認知度が上がり、仲間が増え、奉仕の輪が広がっていくという事に間違いはありません。決議23-34 第4条にも、

「奉仕する者は、行動しなければならない。従つてロータリーとは単なる心構えの事を言うのではなく、ロータリアン個人もロータリークラブも、奉仕の理論を実践に移さなければならない」と謳つてある。

ポールハリスは、ロータリーの奉仕と言え、その根源は人格の向上である事は間違いありません。しかし、その心の改善を実証するためには、すべての点において行動しなければならない。「奉仕の心を行動へ、行動するにはまず心である」と言っています。

つまり、ロータリーの基本は個人奉仕であるが、時と場合によっては団体奉仕も必要であるという事です。しかし、最も大切なことは、ロータリーはただの奉仕団体ではないという事です。その根底には、100年以上にわたつて先人達が培つてきた、親睦と職業奉仕理念を根幹としたロータリーの基本理念があります。そして、ロータリーは、これらを土台とした倫理運動体という教育的要素を持った団体でもあるという事

です。ロータリーの本質は、人に寄り添い、人間が本来生まれながらに持っている「人のために役立ちたいと思う・利他の心」を養い、親睦・奉仕の実践を通じて自己を磨き、高い職業倫理基準と道徳心を持った「真のロータリアン」を育てることです。

そして、その学びの場が「例会」であるという事です。

米山梅吉翁は、「例会は人生の道場」と言いました。「入りて学び、出でて奉仕せよ」の精神のもと、「心を育て、人を育てる」のがロータリーであります。また、ロータリアンにはもう一つの役目があります。それは、日常生活・職場・地域社会においてロータリアン以外の人たちと「奉仕の理念」を分かち合い、職業倫理・道徳・奉仕の理念を広めていかなければならないという事です。つまり、ロータリーの外部での「人づくり」であります。こうした事もロータリアンとしての大事な責務であります。

RI 歴代会長は次のように言っています。

1954-55 年度 RI 会長 Herbert Taylor

Rotary is maker of friendship and builder of men
「ロータリーは友情を育み、人を作る。 人格者を育てる

1974-75 年度 RI 会長 William Robbins

Rotary's first job is to build men

「ロータリーが最初に行うべきことは人づくり」

ロータリーの価値は、クラブの規模や会員数ではなく、クラブが如何なる人を育てたかによって測られる。

ここで、私が考える理想的なロータリー活動とは、どのようなものかと申しますと、中核的価値観を基盤に、「心を育て、人を育てる」といった「奉仕の理念」と「奉仕活動」といった「奉仕の実践」をうまくバランスを図りながら活動していく事であると思っています。

米山梅吉翁も

- ・ロータリーは理論と実践の調和の中に宿る
- ・理論も大事ではあるが、実践も大事である

しかし、実践を強調するあまり理論を軽視する事はダメとも言っています。マネジメントの父と呼ばれた、ピーター・ドラッカーも、「実践なき理論は空虚であり、理論なき実践は無謀である」と言っている。

つまり、理想的なロータリーとは、バランスの取れた感じになります。ロータリーは、過去20年間様々な

戦略計画を立て、会員増強に励んできましたが、会員は、約120万人をピークになかなか増えていません。先進国の会員数が減って、その分を発展途上国の会員数の増加で補っているのが現状です。

今こそ、私達は、原点に立ち返り、創立者であるポールハリスが、あるいは、米山梅吉翁がどのような「想い」でロータリークラブを作ったのか、そして、ロータリーの基礎を築いてきた先人たちの足跡を振り返ってみる必要があるのではないかと思います。

現在のように「成長ありき」の戦略計画を立て、ルールを緩和し、人道的支援活動に重点を置いた RI の方針は、益々ロータリーの本来の魅力をなくし、「ロータリアンとしての誇り」が失われていくように感じています。私たちは、世界のロータリー活動が「学びより実践に重点を置いた」状況の中、より一層「ロータリーの心と原点」を大切に、理念と実践の調和を図りながら、先人達が100年の歴史の中で培ってきた日本のロータリー文化を守り続けていかなければならないと思います。

また、国際協議会のスピーチでジェニファー・ジョーンズ RI 会長が、「より良い世界を想像し、その実現のためにロータリーの力とつながりを活かし、行動に移しましょう。ロータリーのような団体が、ポリオ根絶や平和の実現といった大きな夢を描くなら、それを実現させる責任は、自分たちにあります。

イマジンとは、やさしさ・愛・希望・平和を想像し、明るい未来を描くことです。」と私たちに呼びかけられました。

RI 会長のテーマ「イマジン ロータリー」に込められた「明るい未来への熱い想い」をしっかりと受け止め

地区スローガンを

「ロータリーの心と原点」を大切に描こう明るい未来を。サブタイトルに

「ロータリアンの成長が日本のロータリーの未来を創る」とさせていただきます。

ロータリーの心とは

① 親睦：寛容の心を基盤とした友愛・信頼の心

② 2つのモットーである

・超我の奉仕

・最もよく奉仕する者、最も多く報いられる

③ 四つのテスト（職業奉仕の行動指針）

ロータリーの原点とは、先ほども申し上げたように

高い倫理基準・道徳心を持った人づくり、「魅力あるロータリアン」を一人でも多く育て、魅力あるクラブづくりに繋げていきましょう。

時流に流されず、心豊かで平和な社会を心に描き、その実現に向け自分たちの信じる道を堂々と歩んでいきたいと思えます。

強調事項は

① 地区の女性会員比率8%達成を目指す

R Iの目標：2023年6月末 女性会員比率30%達成となっています。110か国はすでに女性比率30%を達成しています。日本の平均は約8%で、世界の平均は25%となっています。残念ながら当地区は女性会員比率5.7%です。1クラブ1名の女性会員を増員していただきますと目標の8%になります。

② マイロータリー登録率50%達成を目指す。

当地区のマイロータリーの登録率は現状25%弱です。日本の平均が40%くらいです。マイロータリーには参考になるリソースが多く含まれていますので是非活用していただき、ロータリーの知識を深めていただきたいと思えます。

実施事項として

1. ラッピングバス・プロジェクト

市内を走るバスに「END PORIO・ポリオ根絶まであと少し」の図柄を貼り付けて、ラッピングバスとして市内を走ってもらうプロジェクトを開始します。9月7日に出発式を、岐阜、三重で執り行いました。

このバスを見て、ロータリーのポリオ根絶活動を多くの市民に知ってもらい、ポリオ募金活動の推進、ロータリーの公共イメージの向上につなげていきたいと思っています。

2. グループ単位でポリオ根絶の街頭募金活動の実施
一人でも多くの市民にポリオ根絶の募金に協力していただけるよう頑張っていきたいと思っています。

こうした活動内容を、新聞、SNSなどのメディアを使って発信していただき、ロータリーの公共イメージの向上、さらにはクラブの活性化に繋がればいいと思っています。最後に、地区大会のご案内をさせていただきます。

日程は10月22、23日の土曜日・日曜日です

場所は、長良川国際会議場、都ホテル岐阜長良川。

ご参加をお待ちしております。どうぞよろしくお願ひします。

それでは、以上を持ちまして、公式訪問卓話とさせて

いただきます。ご清聴ありがとうございました。

お礼の言葉及び点鐘

左高 洋 会長

本日は大変お忙しい中、高橋ガバナーに於かれましては強い思いや、貴重なお話しを頂きありがとうございました。我々もロータリアンとして成長し続けなければならない。しかしその前に自分自身が成長し続けなければならないと感じました。本日は有難う御座いました。



懇親会

乾杯のご発声

小島 博彦 副会長



親睦ゴルフ表彰 管理運営 横山 浩之 委員長

1位：千葉 臨 君

2位：大野 広 君

3位：小林幹男 君

おめでとう

ございます！！



2022年11月号 ガバナー月信に掲載

締めのご挨拶

松井 雅史 会長エレクト

